

# 山梨の未来を展<sup>ひら</sup>く



Profile

**白井友基** | うすいゆうき

1976(昭和51)年8月12日生まれ。45歳。AB型。羽黒小学校、北西中学校、甲府第一高校、専修大学商学部を卒業後、地元山梨に戻り社会福祉法人山梨櫻の会に入職し、介護・福祉業に従事する。

## 繋がる。進めよう。

次の時代を共に考え、進めていきませんか？  
会合や無尽会などに伺います。  
お気軽にお問い合わせください。

TEL:055-270-1242

SNSでは、日頃の活動を多くの方に  
知ってもらうための情報発信を行っています。



▲ Twitter



▲ Facebook

山梨県議会議員

# うすいゆうき

## 県政レポート

vol.3

Prefectural government report

### ご挨拶

いまだ収束の兆しが見えない  
未曾有のコロナ禍は、私たちの  
心や暮らしに暗い影を落とす  
ました。しかし、社会が厳しい  
困難に直面した今こそ、最大の  
ピンチを最高のチャンスに変え  
る気概と、変化を恐れず新しい  
山梨づくりにチャレンジする覚  
悟が求められます。私は、昨年  
3月に一期生有志で立ち上げた  
県議会の新党派「自由民主党  
新緑の会」の一員として、ポスト  
コロナ時代を見据え、県民皆様  
からご意見やご指導を賜りな  
がら山積する県政課題に微力  
を尽くして参ります。

白井友基

### うすいの応援団!!

池田地区では久しぶりに県議会議員が誕生しました。白井くんには池田通りの  
拡幅など、地域課題の解決に力を入れてもらいたいです。コロナ禍で失われた  
地域の「きずな」を取り戻し、活気ある山梨づくりのために、私は45才の若い白井くん  
に期待します。



元 池田地区自治会連合会 会長  
保坂 求さん

# あの人を訪ねて

—まち・ひと・しごとを考える—



うすいゆうき  
**白井友基**

さわのほりたく  
**澤登拓氏**

今回は、これまで白井が勤務していた介護施設でお付き合いのあった「株式会社フレアス」の澤登拓社長を訪ねました。全国に350もの拠点を持つ訪問マッサージを主とした業界最大手の会社です。富士川町に住みながら全国でご活躍される澤登社長。長引くコロナ禍への対策、そしてこれからの山梨に期待することなどをお聞きました。

人々の生活を  
とめてはいけない

**白井友基(以下・白):**  
在宅マッサージをはじめ、訪問看護・介護のご事業を全国展開されていますが、未曾有のコロナ禍において、全国各拠点での感染対策についてどのようなどこにご配慮されたのでしょうか。

**澤登拓氏(以下・澤):**  
訪問マッサージ・訪問介護などは、高齢者にとつてなくてはならないサービスであります。まずは、サービスを止めないことがコロナ禍において重要で、弊社では、抗原検査やPCR検査を取り入れつつ、国が定めている基準以上の独自の感染防止対策を徹底しています。

**白:**医療・介護分野におけるコロナ対策へのご所見をお伺いいたします。  
**澤:**コロナフレイルという言葉があります。高齢者は感染の危険性だけではなく、家に閉じこもった結果、日常生活レベルが低下しています。身体のフレイル(虚弱)が進み、健康に悪影響が出ると懸念され、我々のような訪問介護のニーズもさらに

高まっています。コロナは怖いけれど、自分の身体も弱くなってしまうというジレンマを抱えているのではないのでしょうか。

**白:**高齢者と同じように、子どもたちもリモート授業による自宅での勉強が進んでいます。共働きで親が日中いないケースの場合、子ども本人に頼らざるを得ないですし、どこまでできるのか大きな課題だと感じています。学校教育についてはどうお考えでしょうか。

**澤:**対面を前提としたカリキュラムはリモート授業に適さず、教育現場のオンラインへの切り替えが大変だと感じます。知識の習得はオンラインでできますが、学校教育とは集団生活を学ぶ場で、規律を学ぶ場です。学校にいますよ。しかしその一方で、テクノロジーの力でさまざまなことがカバーできることも感じています。医療の現場では、ポログラムで名医が診断できるバーチャル診察が可能で、教育現場でも取り組んでいたら、将来バーチャル教室もできるのではないのでしょうか。

共生していく山梨愛

**白:**澤登社長は、若手起業家の支援にも精力的に取り組み、ご自身も若くして起業し、会社を大きく成長させた経営者であります。起業・創業支援が本県にもたらす意義や効果についてお伺いします。

**澤:**産業が栄えないと地域は豊かになりません。豊かになるには、税収・雇用・フロンディング、この3つが必要です。地域を活性化するための新たな産業を商品化することも重要。産業を起すことによって税収が豊かになれば、雇用が増えます。商品が有名になれば山梨の地名度もっと上がるでしょう。その為の支援は今後も必須だと思います。

**白:**長崎知事は山梨県の「高付加価値化」に力を入れていらっしゃいます。ポストコロナ時代やその先の未来を見据え、今からしっかりと種まきをしなれば、人口減少の渦に飲み込まれ、地方は立ち行かなくなり、子どもたちの将来も心配です。この山梨に思つこと、県政に期待することをお伺いいたします。

Profile

**澤登 拓氏**

1969(昭和44)年1月、南巨摩郡生まれ。あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師。2002年ふれあい在宅マッサージ(現フレアス)設立。2019年東京証券取引所マザーズ上場。2021年、地方における「情報の質と量」を向上させる目的の「山梨イノベーションベース」を立ち上げる。

※山梨イノベーションベースの月例会では、一流の講師を呼んで講演会を行っています。



お問い合わせ

うすいゆうき事務所

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田1-10-15  
TEL:055-270-1242 FAX:055-270-1281

公式ウェブサイト▶

